

# ***Pyramix***

## ***Install Manual***

ディーエスピージャパン株式会社

<http://www.dspj.co.jp>





目次

0. はじめに.....	4
1. 電源を入れる前に.....	4
1.1 箱と梱包について.....	4
1.2 設置場所の注意.....	4
2. 機器の接続.....	5
2.1. 別途必要な機材.....	5
2.2. 電源の接続.....	5
2.3 モニターの接続.....	5
2.4 その他の PC 機器の接続.....	6
2.5 AD,DA コンバータ.....	6
2.5.1 MassCore.....	6
2.5.2 Native.....	7
2.6 MTCHIO.....	7
2.6.1 ワードクロックについて.....	7
2.6.2 LTC 出力について.....	8
2.6.3 RS422 右横のスライド・スイッチについて.....	8
2.7 XENA ブレイクアウト・ケーブルについて.....	8



## 0. はじめに

この度は Pyramix を導入頂き、誠に有難うございます。

Pyramix は最も先進的でオープンな DAW です。PC ベースでありながら、様々なオプションを加えることにより専用機に勝る操作性を持っています。

このマニュアルは、箱から取り出して設置を行うまでのガイドをしています。

アプリケーションの操作に関するガイドは、Pyramix PC の「マイドキュメント」, 「Manual」フォルダ内に格納されています。どうぞご一読ください。

## 1. 電源を入れる前に

### 1.1 箱と梱包について

- 万が一 Pyramix の修理が必要な場合、修理対応は基本的にセンドバックとなっております。そのため梱包箱は保管されることをお勧めします。
- Pyramix の梱包品は箱に同梱された別紙に詳しく書かれています。内容をお確かめください。

### 1.2 設置場所の注意

- 機器ラック(EIA)にマウントする場合は、必ずサポートアングルをご使用になり、前面パネルに荷重がかからないように設置してください。
- PVX シリーズのユニット前面左下部には冷却ファンの吸入口があります。ユニット下には最低 1U のスペースを取り、ラック下の機器からの発熱の影響を受けないようご注意ください。
- ユニット背面には冷却ファンの排気口があります。排気口を塞ぐことの無いようご注意ください。
- PC は周囲温度 5°C~25°C の環境で御使用ください。また、極端な温度差による結露を起こさないようご注意ください。





## 2. 機器の接続

### 2.1. 別途必要な機材

Pyramixを動作させるには、以下の機材が必要となります。これらは一般的なPC用及び音響製品がご利用いただけますので、ご用意ください。

- PCモニター(DVI接続が可能なもの、1920x1080以上の解像度を推奨;同じ解像度のものが好ましい) 2台
- DVIケーブル(上記PCモニター用) 2本
- オーディオ・モニタースピーカー 1セット
- 上記モニタースピーカー用ケーブル 1セット
- AD,DAコンバーター

### 2.2. 電源の接続

- Pyramixは、最低でもPCモニター、キーボード、マウスの接続が終わってから起動スイッチを入れてください。
- ACケーブルで本体をコンセント(AC100V)に接続してください。
- Tango, Smart Console, Ramses, ISISなどのLANを使用したコントローラと併用される場合は、各機器にアース付(3P)のACケーブルを使用し、(3Pのテーブルタップを使用するなどの方法で)各機器のACケーブルのグラウンドが電氣的に共通となるように配線してください。

### 2.3 モニターの接続

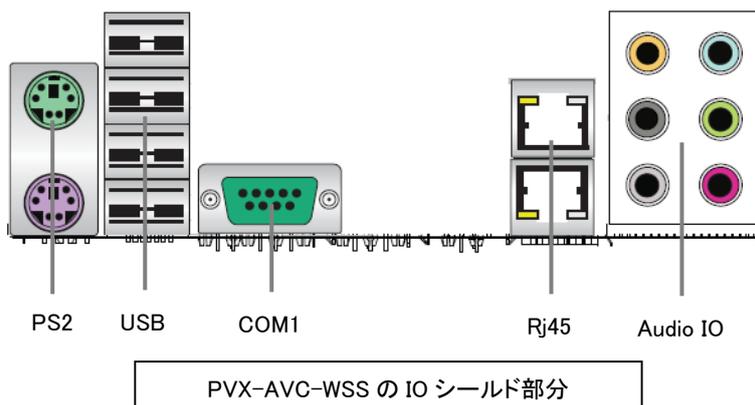
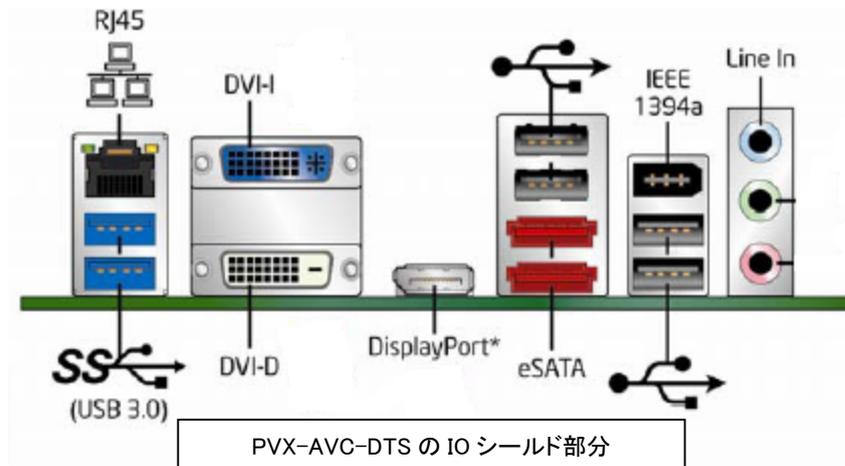
- モニターとの接続はDVIケーブルを使用されることをお勧めします。
- VCubeを併用する場合は、必ず2台のモニターが必要です。
- VCubeは通常、モニター2を使用します。
- PC起動後にWindows(コントロールパネル→モニター)でPrimaryとSecondaryや配置を変更することができます。





## 2.4 その他の PC 機器の接続

キーボードとマウス, その他の PC 機器の接続は、背面右下の IO シールドから配線します。



## 2.5 AD,DA コンバータ

MassCore バージョンと Native バージョンにより、コンバータの接続は異なります。

- MassCore: 専用のオーディオ I/O が背面パネルに用意されています。
- Native: 使用する AD,DAC のドライバーをインストールする必要があります。

### 2.5.1 MassCore

- 専用の Mykerinos(ミケリノス)DSP ボードが内蔵されており、その IO がラック背面に用意されています。
- AESまたはアナログの入出力が装備されている場合、これらの入出力として DB25(メス)が装備されています。専用のケーブルで接続してください。
- これらのコネクタのピン・アサインは、別途 Mykerinos のマニュアルをご覧ください。



- ケーブルを自作される場合、DB25 のとめネジはインチ仕様となっています。ミリ仕様のネジは適合しませんのでご注意ください。
- コネクタの受け側のとめネジ部を壊さないよう、ネジの締めすぎにご確認ください。

### 2.5.2 Native

- 御使用になる AD,DAC の専用ドライバーをインストールする必要があります。AD,DAC に添付されているマニュアルをお読みになり、ドライバーをインストールしてください。
- ドライバーのインストール後、以下の設定が必要となります。以下の手順に従って、設定を行ってください。
  1. コントロールパネルの VS3 Settings を開く。
  2. [Application]を[Pyramix Virtual Studio]にあわせ、[Platform]を[Native - ASIO]に設定。
  3. [I/O Selection]の[Driver name]を使用するオーディオ IO を設定する。
  4. VCube を使用する場合は、さらに、[Application]を[VCube]にあわせ、Pyramix で設定した IO と被らないように設定を行う。



### 2.6 MTCHIO

MassCore モデルでは、さらに LTC や VSYNC などの接続をラック背面(10 シールドの上)にある MTCHIO パネルに行ってください。



#### 2.6.1 ワードクロックについて

ワードクロックはアプリケーション内の設定により入力と出力が切り替わります。ワードクロックをシステムのクロックソースに設定した場合以外では出力となり、外部機器の出力が接続されている場



合、出力ショートの状態となります。特別な理由無しに接続することはお止め下さい。

### 2.6.2 LTC 出力について

Pyramix の LTC 出力はハイ・インピーダンス入力に対応した設計となっています。必ず入力インピーダンス 10kΩ 以上の機器を接続してください(600Ω で終端しないで下さい)。

### 2.6.3 RS422 右横のスライド・スイッチについて

- Pyramix を Controller に設定する場合、[to Machine]に設定してください。
- Pyramix を Device に設定する場合、[from Controller]に設定してください。

## 2.7 XENA ブレイクアウト・ケーブルについて

VCube-SE-SD/HD がインストールされている場合、XENA のキャプチャー・ボードが PC にインストールされています。XENA にはブレイクアウト・ケーブルが付属しています。

- XENA ブレイクアウト・ケーブルにも REF SYNC 入力端子があります。ここにもハウスシンク (VSYNC)を接続してください。
- XENA ブレイクアウト・ケーブルにある RS422 コネクタは使用しません。

